

都から二つ星の評価

トラスト・ウィンドライバーの意識向上に

トラスト・ウィン(東京都狛江市)は、東京都環境局が推進している「貨物輸送評価制度」で二つ星を獲得した。星恵子社長は「参加を決めたのが遅かったため、ドライバーは普段通りの運転をしていただけ」と話す。デジタコを早くから全車で導入している同社は、「メーカーの担当者から『これ以上良くならないレベルの燃費水準』と褒められている」という。

また、同社では、東ト協主催の「セーフティードライバー・コンテスト」にも参加。同コンテストは、社内でチームを組んでエントリする形式。ドライバー一人ひとりにかかる責任は重く、それだけに意識向上にもつながりやすい。同社長

は、「これからも参加していきたい」と意気込む。

ドラレコも導入しているが、「もうい事故の時に特に活用している」という。「単に『相手が悪かった』で終わらせるのではなく、映像を確認するだけで、自分にも要因があることを認識してもらおう。『こうすれば回避できたのではないか』というのを検証するために活用している」とい



星社長

高齢者の引越しゃ車椅子の輸送など、介護分野との関わりも多いことから、09年6月から「介護職員実務者研修」の職業訓練校も開校している同社。既に100人以上が卒業しているという。星社長は、「超高齢化社会の到来を控え、自社の引越しスタッフにも受講させ、仕事に役立ててもらおう」と展望する。

「大手ができない隙間を担っている。これ以上の増車は考えていないし、できるだけ自社で責任の持てる仕事をしっかりと行っていきたい」と語る。

(大西友洋)